

## ～ 目 次 ～

### I 基本的な考え方・方向性の検討

- 1 協議会の役割 . . . . . 2
  
- 2 部活動地域展開に向けての考え方・方向性
  - (1) 部活動の段階的な推進方法の検討 . . . . . 2
  - (2) 指導体制の確保・構築 . . . . . 2
  - (3) その他 . . . . . 4
  
- 3 ロードマップ . . . . . 5

### II 検討協議会等の概要

- 1 検討協議会等の実施概要
  - (1) 令和6年度 第1回検討協議会（令和6年7月29日） . . . . . 6
  - (2) 令和6年度 第2回検討協議会（令和6年10月2日） . . . . . 8
  - (3) 令和7年度 第1回検討協議会（令和7年7月29日） . . . . . 11
  - (4) 令和7年度 第2回検討協議会（令和7年10月10日） . . . . . 14
  - (5) 令和7年度 第1回推進委員会（令和7年12月25日） . . . . . 16
  - (6) 令和7年度 第3回検討協議会（令和8年2月19日） . . . . . 17
  
- 2 検討協議会の概要
  - (1) 委員名簿 . . . . . 22
  - (2) 美唄市部活動の地域移行検討協議会設置要綱 . . . . . 24

### III 資料編

- 1 美唄市部活動の地域移行に関するアンケート集計結果  
(令和6年8月7日～9月3日実施)
- 2 「考え方・方向性」基礎資料  
(事務局案⇒委員意見⇒推進委員意見)

# I 基本的な考え方・方向性の検討

## 1 協議会の役割

本検討協議会は、美唄市における部活動の地域移行（地域展開）について、生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続的に参加できる体制の整備と推進を目的に協議を重ねてきました。本報告は、その検討結果をとりまとめ、教育長へ提出するものです。

## 2 部活動地域展開に向けての考え方・方向性

### (1) 部活動の段階的な推進方法の検討

#### ア 移行開始時期：

移行可能な種目から順次実施する。

#### イ どの種目から：

当面の間、令和7年度現在中学校にある部活動で、移行可能な種目から実施する。（ガイドラインを遵守していることが条件）

※令和8年度から本格実施される『認定地域クラブ』について、ガイドラインを遵守するなどの要件を満たした団体のみが認定地域クラブ「ガイドラインを遵守している」ことを付記

なお、小学校のクラブ活動については、まず、受け皿となる運営団体や実施主体の体制整備をすすめ、参加可能な範囲で受け入れてもらうことが望ましいと考える。

#### ウ どの活動日から（休日・平日の別）：

移行可能な種目の実態に合わせた活動日とすることが望ましい。

#### エ どのような方法で（体制の整備）：

スポーツ分野の地域クラブについては、既存の総合型スポーツクラブに運営団体を担っていただくための体制整備を進める。

なお、文化芸術分野の地域クラブについては市内文化団体等を含めて受け皿となる団体への働きかけが必要である。

### (2) 指導体制の確保・構築の検討

#### ア 運営団体(※1)のありかた：

「既存の総合型スポーツクラブ」に運営・管理の中核を担っていただき、運営団体・実施主体(※2)の体制に応じて、多様な役割分担の在り方を具体的に検討・整理する。

## イ 指導者の確保、調整：

既存の取り組み（外部指導者・ボランティア等）を基盤とした指導者の確保を図る。

また、地域展開への理解者・協力者を募る働きかけを強化し、地域一体となった支援体制を確立するとともに、指導を希望する教職員に対し、兼職兼業の制度活用を促進する環境を整備する。

なお、部活動の地域展開に当たっては、活動内容の質的な向上も図る必要があり、そのためには、参加者が中学生等であることを踏まえ、適切な資質・能力を備え、保護者・生徒等から信頼される指導者による良質な指導が行われることを望む。

## ウ 指導方法の検討：

認定地域クラブ活動の認定に当たっては、学校部活動が担ってきた教育的意義の継承・発展と生徒の豊かで幅広い活動機会の保障を最優先とし、選抜を行わず参加希望者を幅広く受け入れることを含め、具体的かつ持続可能な指導実施体制が確保されていることを認定要件とされたい。

なお、「認定地域クラブ制度」に基づいて、体制づくりを検討していくことが必要である。

## エ 活動場所の確保と検討：

施設の利用申請時に利用時間を併せて申請する仕組みを導入することで、活動時間の適正化が図られるようにされたい。

なお、ガイドラインを遵守した団体（認定地域クラブ）への優遇措置として、施設利用料を無償化とすることが必要である。

## オ 参加手段の検討：

認定地域クラブの活動に参加する生徒は、運営団体に所属する。

## カ 移動手段の確保：

スクールバスの利用は、登下校の確保を含めた学校の教育活動を最優先とすることを基本原則としている。しかし、認定地域クラブの活動は学校教育の一環ではないことから部活動便の対象から外れるため、新たな制度や手段を確保する必要がある。

## キ 費用負担の検討：

認定地域クラブは、費用負担の少ない参加形態を優先し、国のガイドラインに沿った仕組みとするため、費用負担や役割分担のあり方については、今後、協議する必要がある。

また、家庭の経済状況により費用負担が困難な児童生徒がいることが想定されるため、地域クラブ活動費の負担軽減について、市が予算化を検討することが必要である。

### (3) その他

#### ア 今後の検討事項：

引き続き協議が必要な事項については、必要に応じ次の協議会を開催し、検討することを希望する。

また、専任のコーディネーターを配置した推進体制づくりと、市民の協力と参加を促す機会を設けることを希望する。

---

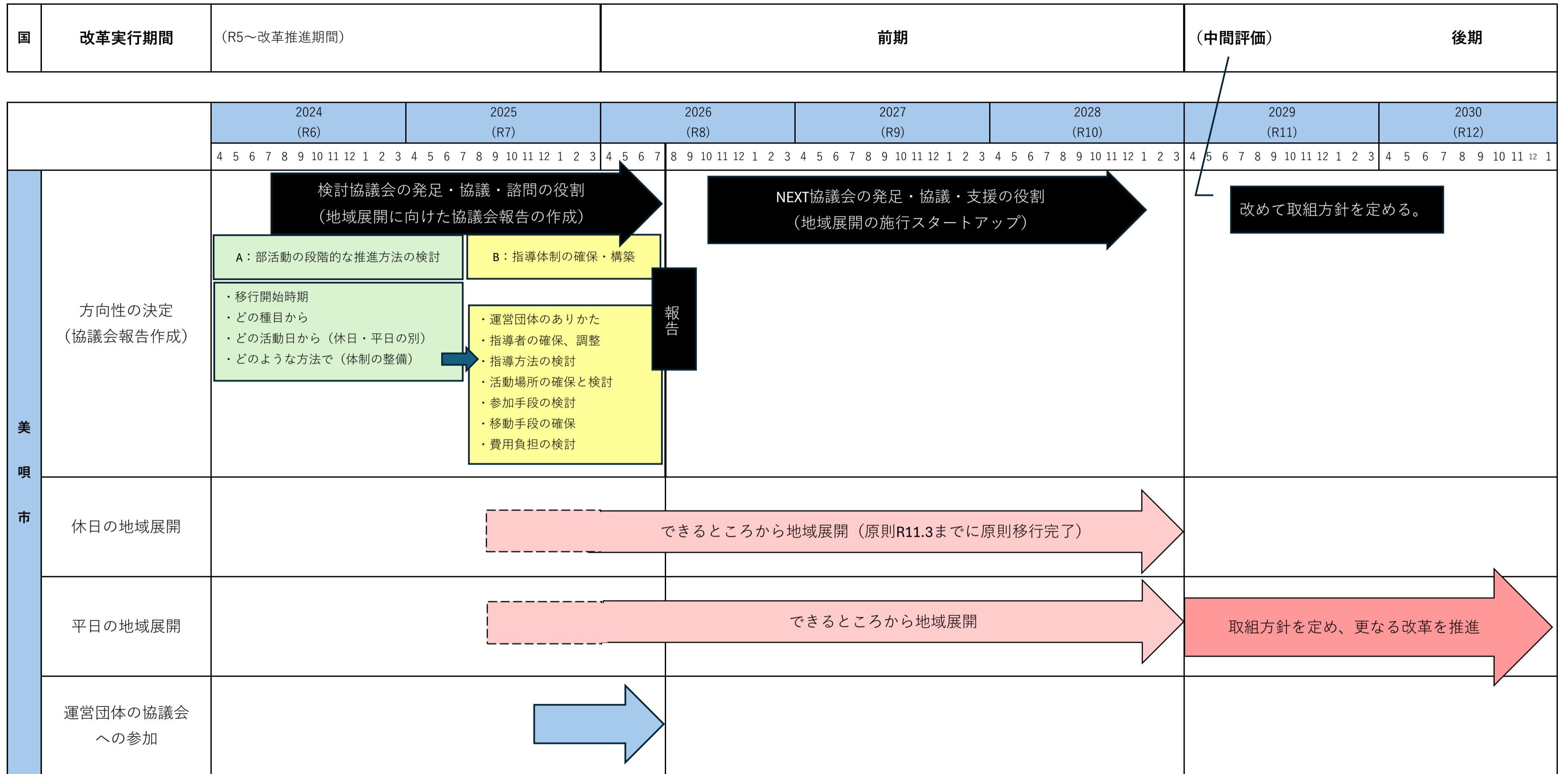
#### 運営団体(※1)

学校が担ってきた部活動の指導や運営を地域移行(展開)する際、その活動を主体的に引き受け、実施する地域の団体。地域の体育・スポーツ協会、文化・芸術協会、NPO法人、企業、ボランティアグループなど。

#### 実施主体(※2)

部活動の地域移行(展開)において、日常の運営、指導、安全管理、参加者対応などの実務を直接担う組織を指す。

### 3 ロードマップ



- 最上段に、国が示す「改革実行期間」を記載している。現在は「改革推進期間」であり、令和8年度から10年度までは「改革実行期間（前期）」、令和11年度から「改革実行期間（後期）」となる。
- 美唄市は、令和6年度から検討を始め、現在の協議会の活動期間は令和8年7月までとしている。協議会報告については、令和8年3月に提出する。  
(本報告では、A「部活動の段階的な推進方法の検討」、B「指導体制の確保・構築」の内容に基づき作成。)
- 次の協議会は10月をめどに設置予定。

## Ⅱ 検討協議会等の概要

### 1 検討協議会等の実施概要

#### (1)令和6年度 第1回美唄市部活動の地域移行検討協議会

日時：令和6年7月29日（月）午前10時30分～11時49分

場所：美唄市役所2階 大会議室A

出席者：【委員】須田委員、山上委員、石塚委員、島田委員、浅利委員、悪七委員、野々村委員  
三分一委員、松田委員、高橋委員、杉本委員、多田委員、小見山委員

【事務局】学務課長、学務課参事、学務課長補佐、学校教育係長

欠席者：【委員】村上委員、本田委員、英委員

#### 次 第

※委嘱状の交付

1. 開会
2. あいさつ（美唄市教育委員会教育長）
3. 議題（1）会長の互選及び副会長の指名について  
（2）国・道の方針及び計画について  
（3）美唄市内の部活動の現状について  
（4）アンケートの実施について  
（5）その他
4. 閉会

#### 議題について

- (1) 会長の互選及び副会長の指名について

⇒会長 浅利委員 副会長 松田委員

- (2) 国・道の方針及び計画について

国や道においては、令和5年度から令和7年度の間各自治体で部活動の地域移行について、課題を整理し移行に向け取組を進めていくことが示されている。

⇒質疑等なし

- (3) 美唄市内の部活動の現状について

各学校の部活動の状況、市内のスポーツ団体、文化団体の紹介

質問・意見	回答等
▼各部の顧問配置のルールはあるのか	・教諭全員（養護教諭含む）がいずれかの部活の顧問になっている。 ・顧問配置数のルールはなく、部員数（性別含む）、指導内容、教員の業務や家庭の状況などを考慮し決定している。

質問・意見	回答等
▼先生の負担について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当する部活で経験がない部活の場合がある。</li> <li>・大会等の引率業務。</li> </ul>
▼先生の負担について（つづき）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中体連時には、設置外部活の引率が必要になる。</li> <li>・指導・引率のほかにも、会計業務があり、普段の部費の管理、大会出場時には、かかる経費の管理があり業務が膨大になる。</li> <li>・美唄市では、外部指導者に対する報酬や勤務条件について整理したものはない。</li> <li>・各学校では、地域の指導者や保護者等にボランティアの形で協力してもらっている。ただし、外部指導者だけの指導や大会引率を行えない。</li> </ul> <p>■大会によっては、帯同審判員が必要な場合があり、その種目のライセンス等を持っている人材が必要。帯同できない場合は、お金で負担をしないとイケない。ライセンスを取得する教員も中にはいるが、その場合は自己負担。</p>
▼先生以外の指導者（外部指導者）について	遠方の大会等になると、かかる経費も大きくなり保護者の負担も大きくなっている。

#### (4) アンケートの実施について

対象、実施時期、実施方法、質問項目の説明

質問・意見	回答等
▼アンケートの公表について	・公表することで考える。
▼アンケートを実施する上での目的や伝え方について	・部活動の地域移行を実施するのでということではなく、地域移行を検討するための資料するため実施する。
▼質問項目への意見	

#### (5) その他

質問・意見	回答等
▼協議会でのまとめ方やスケジュール感について	・令和8年度に向けた2年間の中で、美唄市の部活動の地域移行の方向性をまとめていきたい。
▼協議会委員の守秘義務について	・協議での情報や協議した内容の外部発信については、事務局に相談してもらいたい。
■11月22日にPTA連合会で部活動の地域移行をテーマに教育講演会を開催する情報や、民間委託についての意見	

## (2)令和6年度 第2回美唄市部活動の地域移行検討協議会

日時：令和6年10月2日（水）午後3時30分～4時55分

場所：美唄市役所2階 市長会議室

出席者：【委員】浅利会長、松田副会長、須田委員、山上委員、島田委員、村上委員、  
悪七委員、三分一委員、本田委員、杉本委員、多田委員、小見山委員

【事務局】学務課長、学務課参事、学務課長補佐、学校教育係長

欠席者：【委員】石塚委員、野々村委員、高橋委員、英委員

### 次 第

1. 開会
2. 議題 (1) 第1回美唄市部活動の地域移行検討協議会実施概要について  
(2) 美唄市部活動の地域移行に関するアンケート集計結果について  
(3) 部活動指導員・外部指導者について  
(4) その他
3. 閉会

### 議題について

- (1) 第1回美唄市部活動の地域移行検討協議会実施概要について

概要説明

⇒修正、質疑等なし

- (2) 美唄市部活動の地域移行に関するアンケート集計結果について

アンケート結果説明

質問・意見	回答等
■休日等の部活動が地域移行した場合、「できれば指導したくない・指導したくない」と回答した教職員が多く、保護者としては不安を感じる。	—
▼アンケートの回答率が低い結果を、どう分析しているのか。保護者や市民の関心の低さ、理解に問題があるのではないか。	・事務局も回答率が低いと感じている。 ・保護者の中には、プリント1枚の配付だったためアンケートのことを知らなかった方がいるかもしれないし、部活動の地域移行のことを理解してもらった前の実施のため、関心が薄かったのかもしれないことを想定するが、実際の分析はできていない。 ・回答率が低い中でも、課題に対しての意見は重複しているので、それを踏まえ、今後、議論が必要で、理解も深めていくことが必要と考える。

質問・意見	回答等
▼現在、部活動の送迎など市教委の方でやっていることがあるのか。	・美唄中と東中でスクールバスの部活動便で対応しているものがある。
▼拠点校などで、練習、試合時の場所への移動が、保護者にとって、時間や経費で負担になっているので、検討課題と考える。	・R7年度、美唄中と東中でバスケット部を拠点校にする準備を進めていて、スクールバスを活用し、学校間の移動ができるよう調整を進めている。 ⇒補足：R7.4拠点校部活動に移行
▼部活動の種別で違うが、ユニフォームや用具に係る経費について	<p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・種目によっては、体育の予算で購入したり、学校の備品も使えるが、テニスボールは保護者負担、楽器類についても予算は潤沢ではないし、野球、陸上も物によっては個人負担のものがある、</li> <li>・ユニフォームをチームで持つのか、個人で持つのかで様々。バドミントンのシャトル代は結構お金がかかっている。小学校から使っていたものを使っている子もいる。</li> </ul> <p>【小学校（少年団）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育会系の少年団については、学校のボールや施設を有効活用できるため、それほどの負担はないかと思うが、吹奏楽については、楽譜から楽器の補修メンテナンスまで、全てを負担していただいている状況。</li> <li>・各家庭から負担をしてもらっているし、先生によっては、自分のものを使ってという場合もある。</li> </ul> <p>【保険について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動で怪我をした場合は、スポーツ振興センターの補償対象になるが、少年団等などは、その団体の方で保険に入っていて、個人負担となっている。</li> </ul>

### (3) 部活動指導員・外部指導者について

#### 部活動指導員・外部指導者の説明

質問・意見	回答等
▼拠点校になった場合、指導は教員でなくもいいのか。外部という形で、そこに対価・報酬が発生するという理解でよいか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点校は学校の部活動であり、地域移行のゴールではなく、あくまでも救済措置。</li> <li>・在籍校に希望する部活動がなく、他校でその種目を拠点校として届出している場合、その学校の部活動に参加できる仕組みで、市教委の許可が必要。</li> <li>・指導は教員のほか、部活動指導員・外部指導者が対応。</li> </ul>

質問・意見	回答等
▼美唄市が義務教育学校を設置した場合も、部活動の地域移行は必要なのか。	・現在、美唄市では義務教育学校の設置の考えはないが、義務教育学校となっても地域移行を進めて行く考えに変わりはない。
▼現状、休日の部活動指導のときの先生方に対する手当はどうなっているのか。	・平日については「なし」。土日については、1日3時間以上指導したときは一律2,700円。

<以下、意見のみ>

■地域移行を進める上で、行政の関わり、負担の支援は絶対不可欠な要素であり、そこは、きちんとこの協議会でも議論し、必要なことは求めていかなければならないと考えている。

■土日の指導、その中には専門ではない指導をしている先生も多いということも聞いている。僅かな手当しか出ていなく、先生方の負担を考えると限界に来ていると感じる。部活動指導員でも外部指導者でも、無償でもらうのも限界があるので、ある程度コストを発生させるような体制を作っていただきたい。

■アンケートの回答が少ないという原因は情報不足と感じる。保護者はもちろんだが、なぜ地域移行が必要なのか、なぜ部活では駄目なのかという部分をもっと情報提供して、またアンケートをしたら、また違う回答が出てくるかもしれないし、何をしたいのか柱をきちんとしてほしいと思う。

■中学校の部活動とは違い小学校の少年団活動は、指導に携わる教員の実態は、専門性も含め非常に少ない状況にある。

■小学校の活動でも、指導や備品の面で、合同ということも必要ではないかと考える。

■先生たちが、「できれば休日とかは指導したくない」という回答は、生の声なのかと感じる。また、「人」というところでは、部活動の地域移行だけではなく、スポーツ振興としても大きな課題かと感じている。

■スポーツと子どもの活動を中心にしたプレーヤーズセンタードという新しい考え方を美唄市として発信し、そこにできる先生が協力し活動するというのが個人として考える目指す姿かと思う。行政の支援も含め、地域として子どもたちのスポーツとの関わりをどのようにより良くしていくのかをたたき台にしていければと思う。

#### (4) その他

質問・意見	回答等
▼道内（苫小牧・登別・北見など）で色んな取組があると思うので情報提供をお願いしたい。	・他市の状況については、確認する。また、道教委や国のHPに事例の掲載があるので、確認をお願いしたい。
▼アンケート結果は公表するのか。	・市のHPで公表予定。
■部活動の地域移行のことは、子ども、先生方、市民の方とか保護者の方も全員で取り組んでいくことだと思うので、定期的に情報提供し、少しずつ認知してもらいながら、いい方向に進んで行くといいと思う。	—

### (3)令和7年度 第1回美唄市部活動の地域移行検討協議会

日時：令和7年7月29日（火）午後4時00分～5時47分

場所：美唄市役所2階 市長会議室

出席者：【委員】浅利会長、加藤副会長、須田委員、山上委員、佐藤委員、村上委員  
神内委員（悪七委員代理）、高橋委員、杉本委員、多田委員、小見山委員

【アドバイザー】熊耳アドバイザー

【事務局】学務課長、学務課長補佐、学務課主幹、学校教育係長

欠席者：【委員】島田委員、悪七委員、野々村委員、飯部委員、伊藤委員、英委員

#### 次 第

1. 開会
2. 議題（1）副会長の指名について  
（2）令和6年度美唄市部活動の地域移行検討協議会概要について  
（3）「部活動の地域展開について ～部活動から新たな地域クラブ活動へ～」  
講演：スポーツ庁地域スポーツクラブ活動アドバイザー 熊耳 雅美様  
（4）令和7年度アンケートについて  
（5）その他
3. 閉会

#### 議題について

- （1）副会長の指名について  
⇒副会長 加藤委員
- （2）令和6年度美唄市部活動の地域移行検討協議会概要について  
概要説明  
⇒修正、質疑等なし
- （3）「部活動の地域展開について ～部活動から新たな地域クラブ活動へ～」

#### ○講演概要：主な解説は下記のとおり

##### ・部活動の定義

中学校の学習指導要領に位置づけられた教育課程外の活動で、生徒の自主的参加が前提。

##### ・地域展開の考え方

種目ごとの受け皿を地域に作るだけでなく、学校に希望する部がなく参加を諦めている子どもも含めて考える必要がある。運営団体の存在が重要。

##### ・国のガイドライン（R4）で示された地域展開のパターン

- 1）市が運営団体となる、または市が中心となって社団法人やNPO法人等の運営団体を設立し、各種団体と連携して、指導者を派遣する体制
- 2）地域の多様な運営団体・実施主体が、社会体育・教育施設や文化施設を活用して、多様な活動に親しむ機会を確保し、中学校等の生徒が参加する体制

3) 直ちに1) 2) のような体制を整備することが困難な場合、当面、学校部活動の地域連携として、必要に応じて拠点校方式による合同部活動も導入しながら、学校が地域の協力を得て、部活動指導員や外部指導者を適切に配置し、生徒の活動環境を確保する体制（あくまで移行措置）

・移行スケジュール

令和5年度から令和7年度は「改革推進期間」、R8から「実行期間」。休日の部活動は令和8年度から令和10年度の前期に地域移行を開始することが目標。

・議論の進め方

指導者確保などの個別論ではなく、市全体としての方向性（総論）をまず定めることが重要。

・子どもたちの声の反映

「やりたいこと」を聞くだけでなく、実現方法を子どもと一緒に考える場が必要。北海道の調査では、部活動に求めるものとして「仲間との良い人間関係」が最も重視されている。

・多様な人材の活用

専門指導者だけでなく、見守りができる大人など、多様な地域人材が関わる可能性を検討すべき。

・先進事例

登別市と安平町の取り組みが紹介された。

・アドバイザーからの助言

次回協議会には美咲市の方向性がわかるものや、スケジュール感のわかるものの提示が必要

○講演後の意見交換

質問・意見	回答等
<p>▼講演を聞いて、いろんな団体関わっていかねばと感じた。今後、いろんな団体を巻き込んでほしい。</p> <p>▼講演の中で話があった、地域移行へのスケジュール感と準備について具体的なロードマップの提示はあるか。</p>	<p>・部活動の地域移行検討協議会では、まず方向性を示し、次の段階に進む際に、多様な団体で構成された新たな委員会の設立を検討していくのはどうか。</p>
質問・意見	回答等
<p>▼「どんまいスポーツクラブ」の動きについて情報があれば教えてほしい。</p>	<p>・6月にNPO法人として立ち上げ、その手続きを進めているところ。</p> <p>総合型のスポーツクラブであり、部活動の地域移行で関わるところがあれば準備をすすめるという方向で考えている。</p>

(4) 令和7年度アンケートについて

質問・意見	回答等
<p>▼小学生の部活動の種目が、スクールバンドよりも吹奏楽のほうがわかりやすい。</p>	<p>・わかりました。</p>
<p>▼紙のアンケートを児童・生徒が持ち帰ることで、保護者の方にもお知らせするいいツールになると思う。（同様の意見あり）</p>	<p>・事務局からの提案では回答方法をタブレットでしていたが、紙で持ち帰って回答いただく方法も候補として考える。</p>

質問・意見	回答等
<p>▼今とくに部活動をやっていないが、今後やってみたいという意見を書く欄はあるのか。</p> <p>▼部活動以外に活動する機会があったらどんなことをやってみたいか聞く質問があるとういと思う。</p> <p>▼もう少し踏み込んで、部活動の地域展開に向けて、子どもたちがどんなことが課題だと感じているか、自分たちも主体的に関われるように、こんなことできるよ、あるいはこんなことしてほしいというところを聞く質問等もあっていいのでは。</p> <p>▼北海道が行った調査では小学5年生から高校生まで同じ調査シートを使っている。小学生の質問項目が少ないと思う。中学生に合わせてもう少し充実してもいいのでは。</p> <p>▼講演にもあったように、中学校1, 2年生に、今後部活動に話し合いに参加してもらうのもいいのではないか。</p> <p>▼Q4は「どうしたらやりたいと思いますか。」という問いでいいと思う。</p>	<p>(今回のアンケートの方向性)</p> <p>・まず、今年度のアンケートは、子どもたちの意見を幅広く集めることに重点を置くものとします。</p> <p>具体的な活動内容や、どのような活動を望んでいるかなど、部活動に入っている入っていないにかかわらず自由に記入できる欄を設けます。</p> <p>これにより、昨年よりも一歩進んだ、子どもたちのニーズを深く理解するためのアンケートになると考えます。</p> <p>(今後の方向性)</p> <p>・今回集まったご意見は、今後の活動に反映させていくことで整理させていただきます。</p> <p>次のステップで、例えば、異年齢との交流を希望する意見が多ければ、小・中・高校生や大人も参加できるような活動の場を設けるのも良いかもしれません。</p>

(5) その他

①協議会活動内容（議事録承認）

概要説明

⇒修正、質疑等なし

②次回予定

⇒アンケート案が整ったらお知らせ。次回協議会は10月を予定

## (4)令和7年度 第2回美唄市部活動の地域移行検討協議会

日時：令和7年10月10日（金）午後4時00分～5時00分

場所：美唄市役所2階 市長会議室

出席者：【委員】浅利会長、加藤副会長、須田委員、山上委員、佐藤委員、島田委員、  
野々村委員、英委員、杉本委員、多田委員、小見山委員

【アドバイザー】熊耳アドバイザー

【事務局】学務課長、学務課長補佐、学務課主幹、学校教育係長

欠席者：【委員】村上委員、悪七委員、飯部委員、高橋委員、伊藤委員

### 次第

1. 開会
2. 議題（1）報告事項【資料1】
  - （2）令和7年度第1回美唄市部活動の地域移行検討協議会概要について【資料2】
  - （3）検討協議会の方向性について【資料3①②】
  - （4）情報提供（国の予算等）【資料4】  
説明：スポーツ庁地域スポーツクラブ活動アドバイザー 熊耳 雅美様
  - （5）その他
3. 閉会

### 議題について

- （1）報告事項【資料1】
- （2）令和7年度第1回美唄市部活動の地域移行検討協議会概要について【資料2】

概要説明

⇒修正、質疑等なし

- （3）検討協議会の方向性について【資料3①②】⇒資料（2）参照

概要説明

⇒修正、質疑等なし。後日、意見集約の機会を設ける。

- （4）情報提供（国の予算等）【資料4】

○説明概要：主な解説は下記のとおり

① 資料4にもとづき、以下についてご説明をいただいた。

・国の動きに関する情報提供

来年度以降の国の動きについて、スポーツ庁・文化庁による部活動の地域展開に向けた概算要求資料をもとに説明をいただいた。

・部活動の地域展開の理念と方向性について

少子化が進む中でも、子どもたちがスポーツ・文化・芸術活動に継続して親しめる機会の確保・充実を目指す。学校と地域が連携し、共に子どもを育てる環境づくりが求められている。

#### ・改革実行期間への移行

令和8年度から「改革実行期間」に入り、事業内容が変化。令和7年度までは実証事業として個別課題への補助が中心だったが、今後は具体的に活動を推進する団体への支援が検討されている。受益者負担や公的負担のバランスについても現在調整中。

#### ・ガイドラインの策定状況

指導者の質の確保やクラブ・指導者の認定制度などが有識者会議で議論されている。総合型地域スポーツクラブの登録制度を踏まえ、認定クラブへの公的支援も検討中。

#### ・地域展開の実例と運営体制

美唄市では複数の種目で地域展開が進行中。「どんまいスポーツクラブ」などの団体が運営主体となる可能性がある。実施主体とマネジメント機能を明確にし、持続可能な運営体制の構築が重要。

#### ・ガイドラインの公表予定

スポーツ庁より、ガイドラインは今年中の公表を目指しているとの情報あり。今後の道しるべとなる。

#### ・部活動指導員配置支援予算について

中学校における部活動指導員の配置支援予算は継続中。全国的には合同部活や外部指導者の活用が続いており、当面は予算を残しつつ、地域運営への移行が進められる見込み。

#### ・アドバイザーからの講評

前回7月末に行った協議会では方向性がみえていなかったことから、「ロードマップや方向性の提示」が課題であった。今回は資料が整い、方向性や、やるべきことが見えてきており、非常に前進を感じている、との講評をいただいた。

#### (5) その他

今後のスケジュールおよび意見集約について

⇒次回は協議会から代表4名程度で構成する「推進委員会」として開催する。資料3①②に対する意見を取りまとめ、全体会議で協議する。推進委員会人選は事務局一任で合意。

## (5)令和7年度 第1回【推進委員会】

日時：令和7年12月25日（木）午後1時30分～2時20分

場所：美唄中学校 校長室

出席者：【委員】浅利会長、加藤副会長、野々村委員、多田委員

【事務局】学務課主幹

欠席者：なし

### 次 第

1. 開会

2. 議題 (1) 情報提供【資料1】

「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」関係資料抜粋

(2) 協議事項～検討協議会の方向性について【資料3①②】

協議会意見とりまとめ

3. 閉会

### 議題について

(1) 情報共有

「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」関係資料抜粋

⇒令和7年12月に文部科学省から「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」が発出され、新たな制度として「認定地域クラブ制度」や、それに関連する制度として「認定地域クラブ活動指導者」登録制度が設けられることについて、推進委員会内で情報共有を行った。

(2) 検討協議会の方向性について【資料3①②】⇒協議内容は、資料（2）参照

⇒前回協議会后委員から提出された意見および質問（意見集約期間：R7.10.17～11.7）をふまえ、協議を行い、推進委員会案を作成。

作成した案は、全体会議における協議資料として提出予定。

## (6)令和7年度 第3回美唄市部活動の地域移行検討協議会

日時：令和8年2月19日（木）午後4時00分～5時20分

場所：美唄市役所2階 市長会議室

出席者：【委員】浅利会長、須田委員、山上委員、島田委員、村上委員、悪七委員、  
飯部委員、伊藤委員、杉本委員、多田委員、小見山委員

【事務局】学務課長、学務課長補佐、学務課主幹、学校教育係長

欠席者：【委員】佐藤委員、加藤委員、野々村委員、高橋委員、英委員

### 次 第

1. 開会
2. 議題 (1) 報告事項【資料1】
  - (2) 令和7年度第2回美唄市部活動の地域移行検討協議会概要について【資料2】
  - (3) 検討協議会の方向性について【資料3①②】
  - (4) その他
3. 閉会

### 議題について

- (1) 報告事項【資料1】
- (2) 令和7年度第1回美唄市部活動の地域移行検討協議会概要について【資料2】

概要説明  
⇒修正、質疑等なし
- (3) 検討協議会の方向性について【資料3①②】

⇒協議内容は18～21ページ、結果は報告書2～5ページ参照
- (4) その他  
事務連絡

(3) 検討協議会の方向性について【資料3①②】協議内容

2 協議会の検討内容

全体について	
質問・意見	回答
<p>ロードマップや方針が提言書や提案書のような位置づけになっているのではないかと懸念があり、この会としての最終的なまとめ方について、あらためて説明を求める。</p> <p>設置要綱を確認すると、この協議会は諮問機関ではないため、「提言」という表現が適切なのか疑問がある。</p>	<p>「部活動の地域移行に向けた体制づくりについて協議し、その成果を報告書としてまとめる」のが本協議会の意義と考えている。</p> <p>当初は何もなかった状態から、協議会での検討を通じて今後の方向性が形になってきている。本日はそれらを整理して報告書にまとめる考えである。</p> <p>表現の修正については、検討する。</p>
<p>協議会の意見が、ロードマップや報告内容に十分反映されるのか心配している。</p> <p>2年間の議論を積み上げてきたはずだが、その内容が十分に活かされているのか疑問。</p> <p>今回の案を見ると、どれだけの委員の意見が反映されているのか分かりにくく、実際にどれほど意見が出て、それがどう反映されたのかが不透明に感じられる。</p> <p>実績として形はできているが、その中身が本当に議論を踏まえたものになっているのか不安。</p>	<p>これまでの意見を踏まえ、ロードマップだけでなく、協議会で出された意見を資料3②に整理して示し、それを基に全員で内容を確認していく場である。</p> <p>委員から出た意見はすべて集約したが、全体で精査するのが難しいため、推進委員会で意見を整理した。</p> <p>委員の懸念も踏まえ、資料3②に示された内容に問題がなければ、それを最終的に報告書としてまとめる流れになる。</p> <p>これまで2年近くかけて行ってきた議論（児童生徒及び保護者アンケート）も資料に反映されており、今日はその内容を協議会として最終確認する場である。</p>
<p>協議会としてどこまで意見を出すのか、その範囲を明確にすべきである。</p>	<p>これまで協議会で検討してきた内容は、最終的に協議会としての意見として整理し、報告として提出する。</p>

(1) 部活動の段階的な推進方法の検討

ア 移行開始時期 イ どの種目から	
<p>「移行可能な種目から」という方針自体には反対しないが、実際に移行できる種目が存在するのか、教育委員会や学校がその可能性を調査しているのか。</p> <p>どの程度の見通しがあるのかによって、この表現が適切かどうかが変わる。</p>	<p>現時点では、地域展開を進めるにあたり、協議会として「今後の方向性」を明確にする段階にある。今回はその内容を「報告」としてまとめることを目標としている。ロードマップにも示されているように、今後の議論でさらに議論を深めるための「事前の考え方の整理」をする段階と考えている。</p>
<p>美唄中学校のソフトテニスクラブの地域移行は、本来なら協議会のモデルケースになり得ると期待していたが、実際にはテニス連盟が主導して進み、行政や教育委員会が十分に関わらなかったことを残念に感じている。</p> <p>学校は努力しているものの、行政が仲介や調整に入らなかったため、地域クラブ化が「協議会の成果」として活かされず、他の団体への展開にもつながらなかった。</p> <p>本来の可能性が十分に発揮されず、駆け引きのような形で進んでしまったことが残念である。</p>	<p>中学校としても、部活動の地域移行に向けた取り組みをすでに進めており、ソフトテニスでは地域クラブを立ち上げるなど、実際に地域展開が始まっている。</p> <p>さらに、陸上部についても地域展開を目指して準備や調整を進めているが、活動場所や使用料など二次的な課題も出てきている。</p> <p>学校としては、地域の人材を受け入れる体制づくりなど、地域移行に向けた環境整備を独自に進めているものの、期限を明確に示すことは難しい状況である。</p> <p>補助金や交付金の有無に関わらず、学校としてできる範囲について都度市教委と協議・連携し、取り組みを進めている。</p>

質問・意見	回答
	<p>中学校では、生徒数の減少や専門的な指導者の不足により、部活動の運営が難しくなっている。そのため、地域クラブへの移行の可能性を探っているが、現時点では具体的に進んでいない。</p> <p>今後は、提示された「認定要件」と照らし合わせながら、どの部分が課題になるのかを整理し、改善点を洗い出していく必要があると認識している。</p> <p>行政が関与する明確な制度は現状ないが、中学校では部員減少が深刻な問題で、制度を待っているのは部が存続できなくなるため、テニスは地域クラブ化によって外部からも参加者を募り、存続を図ったという事情がある。</p> <p>また、陸上部でも同様の課題が起り得るため、地域人材の受け入れなど、早期に地域移行の準備を進めている。</p> <p>今後は、認定クラブ制度の内容に合わせて課題を整理していく。</p>
ウ どの活動日から（休日・平日の別）	
特になし	推進委員会意見を採用する。表現を見直す。
エ どのような方法で（体制の整備）	
<p>運営団体について、総合型スポーツクラブについては、相手方の意向確認が取れている場合は問題なく掲載できる。</p> <p>文化系については、まだ十分な確認が取れていないので、厳格性の観点から記載すべきではないのではないか。</p> <p>将来的には、文化系団体も含めて受け皿となる団体への働きかけも必要ではないか。ただし、今回の地域展開に関しては、スポーツ団体がどこまで関与するかはまだ不確定な部分があるため、柔軟に対応する余地を残すべき。</p>	<p>（体制については第2回検討協議会で合意済）</p> <p>ガイドラインはスポーツだけでなく文化芸術活動も対象とするが、現時点で運営団体となりうるのは既存の総合型スポーツクラブである。</p>
吹奏楽などの文化系の部活動は、スポーツとは別の団体と連携することになるのか。	

## (2) 指導体制の確保・構築の検討

ア 運営団体のありかた	
表現等であるため、「全体について」に集約	
イ 指導者の確保、調整	
<p>人材バンクの設置自体は可能性があるが、美唄市が単独で運用するのは難しいと考える。</p> <p>「人材バンク」という表現が協議会として適切かどうか。</p>	<p>既存の取り組みの中から指導者になり得る人が出てくる可能性はあるため、ガイドラインから引用した「人材バンク」という表現について検討する。</p>

質問・意見	回答
<p>この検討協議会が最終的にどのような形になるのか、国の方針が変わり続けているため見通しが立てにくい状況がある。</p> <p>他の委員から「イメージが湧かない」という意見が出たが、個別のケースを考えても具体像がつかみにくく、解像度が低い状態である。</p>	<p>教員の中に協力してくれる人がいる可能性もあり、異動で状況は変わるが、地域のボランティアとともに支援してくれる教員が出てくることも期待できる。</p>
<p>今後協議してほしい内容である。</p>	<p>今後協議していく内容として反映する。</p>
<p>ウ 指導方法の検討</p>	
<p>特になし</p>	<p>推進委員会意見を採用する。表現を見直す。</p>
<p>エ 活動場所の確保と検討</p>	
<p>特になし</p>	<p>推進委員会意見を採用する。表現を見直す。</p>
<p>オ 参加手段の検討</p>	
<p>特になし</p>	<p>推進委員会意見を採用する。</p>
<p>カ 移動手段の確保</p>	
<p>今後クラブの送迎にスクールバスを利用する場合、現在の契約と同じでよいのか。</p>	<p>現状とは時間帯やルートも変わってくるので、その部分をお願いするということになれば、また契約が必要になる。スクールバスの運用とは別な契約になる。</p>
<p>現状ある情報はあるものの、実際に協議会で話し合った事実を基に記述すべき。</p>	<p>これまでの意見を踏まえて推進委員会での意見を作成した。事務局案を採用する。</p>
<p>キ 費用負担の検討</p>	
<p>大都市と同じような地域展開の仕組みを、子どもの数が少ない地域で同様に実施するのは難しい。</p> <p>道や国に対して、地域の実情を踏まえた支援や配慮を求めていく必要がある。</p> <p>ガイドライン通りに「認定クラブにすべて任せる」形では、自主運営が成り立たないクラブもあるため、その点をしっかり訴えるべき。</p>	<p>行政として、運営団体・実施団体への財政的支援は必ず必要になると考えている。</p> <p>ただし、役割分担や具体的な費用の見込みは今後の協議で決めていく必要がある。</p> <p>報告には「今後、費用や役割分担について協議していく」という内容を付け加える形でよいか検討する。</p>
<p>各団体が年間どれだけの経費（活動費・消耗品費など）を使っているかを事前に聞き取って把握する必要がある。</p> <p>団体数が多く調査は大変だが、適切な助成額を判断するためには、各団体の通常活動に必要な費用を把握することが不可欠だと思う。</p>	
<p>他市では、教育委員会に専任のコーディネーターが配置され、部活動の人数や団体の活動費などを詳細に調査・把握していた。</p> <p>他自治体では、市が人事を含めて地域・学校を横断的に支える体制を整え、補助金も活用して運営している例がある。</p> <p>美唄市でも同様の体制整備が必要だが、現状の職員数では対応が困難であり、専任的な役割を担う人材の配置が重要だという意見が示された。</p>	<p>整理として「市が予算化を検討することが必要である」という文言を明確にし、コーディネーター配置の話は「その他」の項目に整理する方向でまとめる。</p>

### (3) その他

質問・意見	回答
<p>協議会としてまとめた報告書は重要であり、その内容を大切に扱うべき。</p> <p>今後の地域移行を進めるには、地域の人を巻き込む取り組み（勉強会など）が不可欠。</p> <p>高齢者など体力に自信がない人でも、応援や協力という形で関わることはできるため、地域に理解者・協力者を増やす必要がある。</p> <p>そのために、市や学校が地域に向けて「今どんな取り組みをしているのか」「子どもたちのために協力を求めていること」を示し、市民の理解と参加を促す機会を設けるべき。</p>	<p>本日いただいた貴重な意見は、ロードマップや考え方に反映していく。</p> <p>課題は多いが、協議会として前向きに整理を進めていく。</p> <p>（コーディネーター配置の話は「その他」の項目に整理する。）</p>